



第64期 報告書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

証券コード：6946

日本アビオニクス株式会社

○ 株主の皆様へ



Contents

株主の皆様へ	1
セグメント別の概況	3
トピックス	5
連結財務ハイライト	6
連結財務データ	7
株式の状況	9
会社の概要	10

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第64期（平成25年4月1日から平成26年3月31日）の事業の概況等についてご報告申し上げます。

【当期は情報システム事業が好調に推移したため、増収増益となりました】

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、企業向けでは震災等の影響で繰り延べされてきた企業のシステム更改需要や、Windows XPサポート終了に伴うPCの買い替え需要等が堅調でした。また、政府向けでは防災・防衛関連を中心とした通信インフラ需要が堅調でした。

このような状況の中、当社グループは、既存顧客の深耕拡大、海外市場の開拓、販売店との連携の強化等を行うとともに自動車市場をターゲットとした接合機器NRW-1N16K4や超解像処理技術による高精細な画像を得ることができる赤外線サーモグラフィカメラInfReC R500*1等の新製品を市場に投入し、売上の拡大に努めました。また、超音波接合に強みを持つ日本ヒューチャ株式会社を全株式を取得し平成25年4月1日付で完全子会社といたしました。

平成26年6月
代表取締役執行役員社長

秋津勝彦

【構造改革の成果により4期ぶりの当期純利益を計上しました】

当期の連結業績につきましては、国の補正予算の効果等により情報システムが好調に推移したことから売上高は増加となり、損益は、売上高の増加および費用削減の効果により営業利益、経常利益、当期純利益が次のとおり増加いたしました。

【当期連結業績】

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期 (前期比)	27,275 (5.9%増)	640 (4億34百万円増加)	519 (4億29百万円増加)	402 (12億26百万円増加)

期末配当につきましては、当期純利益を計上したものの、配当可能な十分な利益を出すことができず、まことに遺憾ながら普通株式、第1種優先株式および第2種優先株式は無配とさせていただきます。

【安定した利益の確保を目指し、復配に向けた財務体質の改善を進めます】

次期の見通しにつきましては、消費税増税前の駆け込み需要の反動による個人消費の伸び悩みが懸念されるものの、日本政府の経済対策に加え、海外経済の回復等により緩やかな回復傾向となるものと思われれます。

このような状況の中で、当社グループは、更なる業績の向上を目指し成長市場の開拓による売上の拡大、コストダウンの推進、マネジメント力の強化を行ってまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き変わりなきご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

【連結業績予想*2】

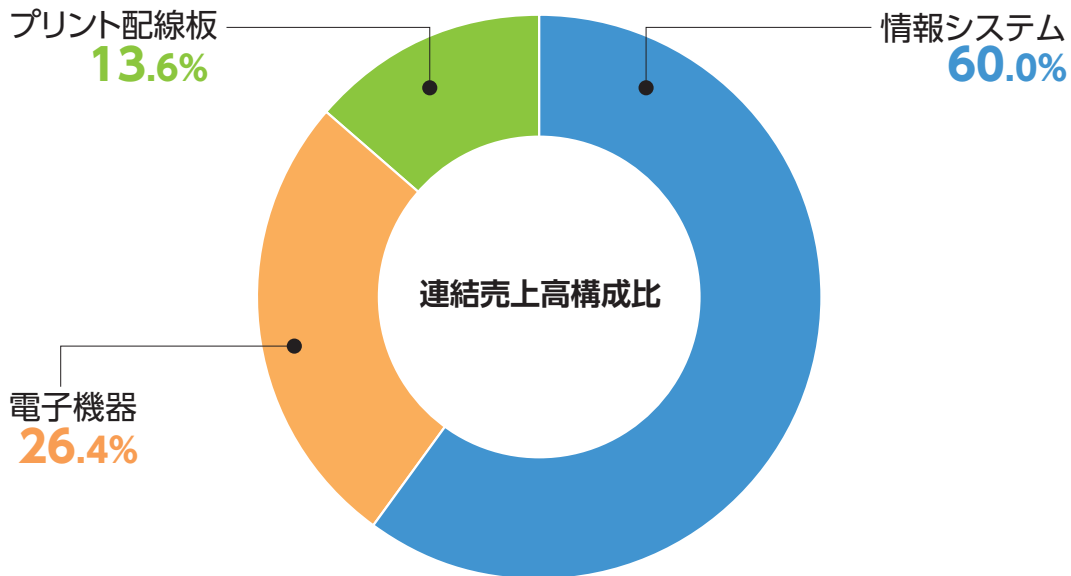
単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成27年3月期	27,000	550	400	300

※1赤外線サーモグラフィカメラInfReC R500については5頁のトピックスをご覧ください。

※2業績予想の数値は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○ セグメント別の概況



情報システム

連結売上高

163億55百万円

(前期比9.3%増)

— 国の補正予算等の効果により誘導・搭載関連装置等が好調だったことから大幅に増加しました。

セグメント利益

8億51百万円

(前期比3億29百万円増加)

— 売上高の増加および費用削減に努めたことにより大幅に増加しました。



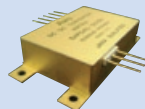
指揮・統制装置



表示・音響装置



電波応用装置

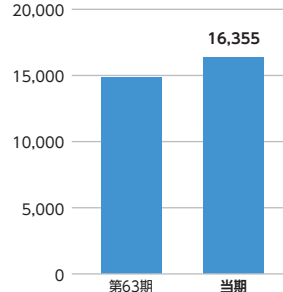


ハイブリッドIC

主要製品：誘導・搭載関連装置、表示・音響関連装置、指揮・統制関連装置、ハイブリッドIC

情報システム連結売上高推移

(単位：百万円)



電子機器

連結売上高

71億96百万円 
(前期比1.5%増)

—赤外線・計測機器が映像機器の収束により減少したものの、接合機器の日本ヒューチャア株式会社の買収効果により全体では増加しました。

セグメント損失

2億95百万円 
(前期比92百万円改善)

—売上高の増加により改善しましたが、赤外線・計測機器の競争激化により利益を出すまでには至りませんでした。



ファイバレーザ溶接機&
ガルバノスキャナシステム



大容量インバータ式
溶接電源



InfReC
R500シリーズ

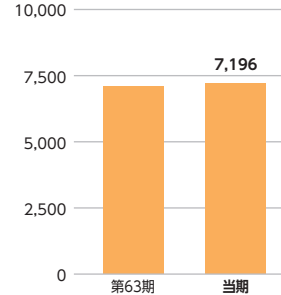


オムニライトⅡ
RM1100

主要製品：接合機器、赤外線機器、工業計測機器

電子機器連結売上高推移

(単位：百万円)



プリント配線板

連結売上高

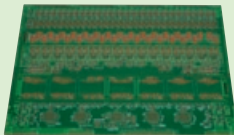
37億23百万円 
(前期比0.8%増)

—国内半導体テスト市場の需要が減少したものの、高信頼性分野に支えられ売上高はほぼ横ばいとなりました。

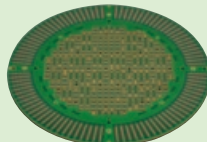
セグメント利益

84百万円 
(前期比12百万円増加)

—売上高はほぼ横ばいながら、得意とする高難易度・高付加価値製品へ注力し、微増となりました。



高密度多層基板



半導体プローブカード

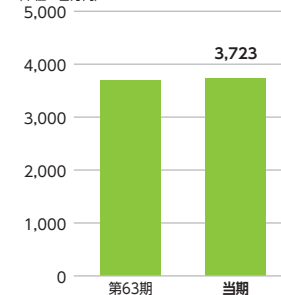


パーソンテストボード (ソケット面)

主要製品：プリント配線板

プリント配線板連結売上高推移

(単位：百万円)



赤外線サーモグラフィカメラ InfReC R500シリーズ

最大記録画素数120万画素！ 複数枚超解像処理技術による 類を見ない高精細な熱画像

本製品は、画像の解像度を実際に高めることが可能な最新の画像処理技術「複数枚超解像処理」*機能をカメラに内蔵し、画素数を検出器（センサ）の4倍となる120万画素に増幅して記録することが可能です。これにより、従来にない鮮明で高精細な熱画像を実現します。

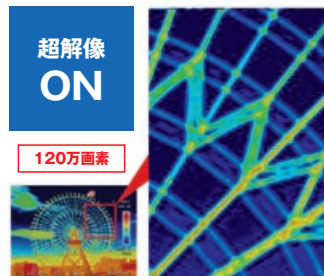


●熱画像比較 —超解像“ON”と“OFF”—

通常の記録モード
画素数 640×480



超解像 (SR) 記録モード
画素数 1280×960



画素数
4倍!!

「複数枚超解像処理」機能によって得られた高精細な熱画像は、微小な電子部品等の研究開発分野をはじめ、高所となる橋梁等のコンクリート構造物や建築物外壁タイルの剥離調査、電力設備の点検といったインフラ維持管理分野で特に効果を発揮します。

●製品ラインナップ

モデル	使用目的
R500Pro フル機能R&D用モデル	時系列データの測定を行うR&D分野や、高温物の測定に最適。
R500 設備診断用モデル	高所となる電力設備やプラントの配管などの点検に最適。
R500S 構造物診断用モデル	コンクリート構造物や建築物外壁の剥離調査に最適。

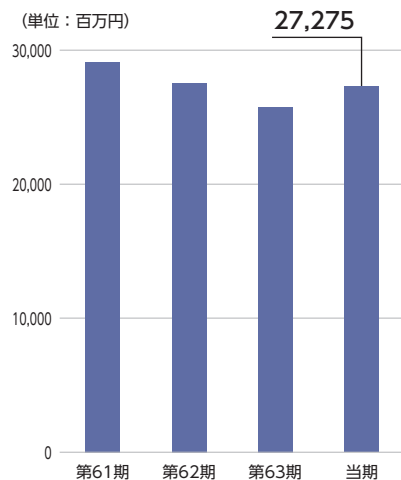
使用目的に応じて選べる3種類のモデルを用意し、すべてのモデルに「複数枚超解像処理」機能を標準搭載しました。

用語解説

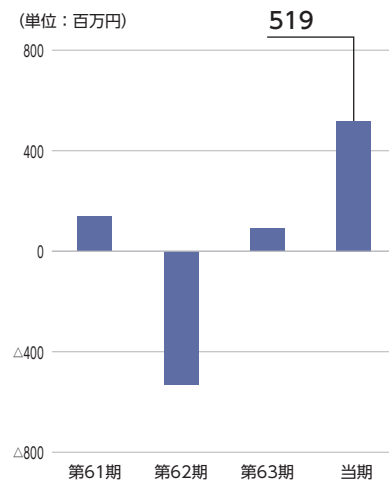
※複数枚超解像処理

連続する複数枚のフレームを参照して高度な演算を行い、映像のぼやけやちらつき（ノイズ）を抑えながら、被写体が本来持つ緻密さを、解像度を高めながら復元する技術です。複数枚の画像を正確に重ね合わせ、手ブレなどによって発生する一画素未満のずれを利用して画素間の情報を補間します。既存の解像度のセンサを活用してより高解像度な画像データを取得することが可能です。

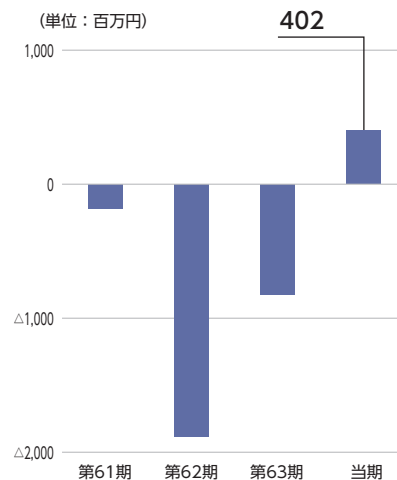
売上高推移



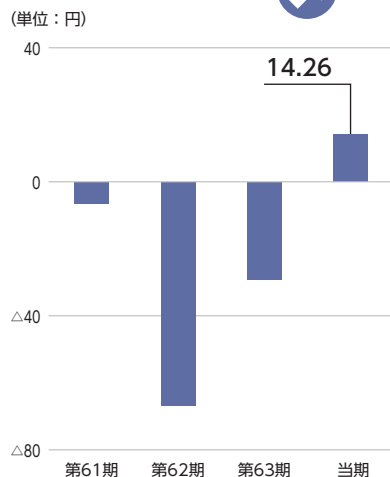
経常損益推移



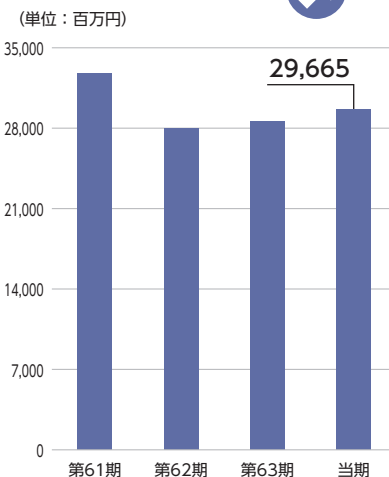
当期純損益推移



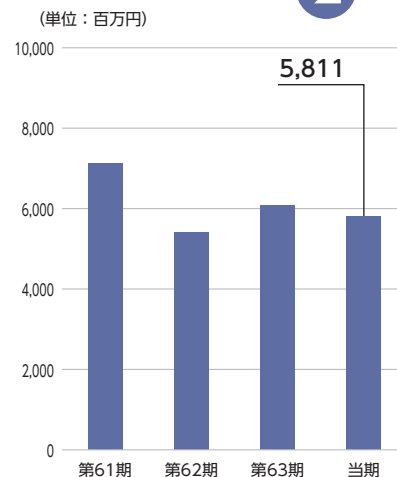
1株当たり当期純損益推移



総資産推移

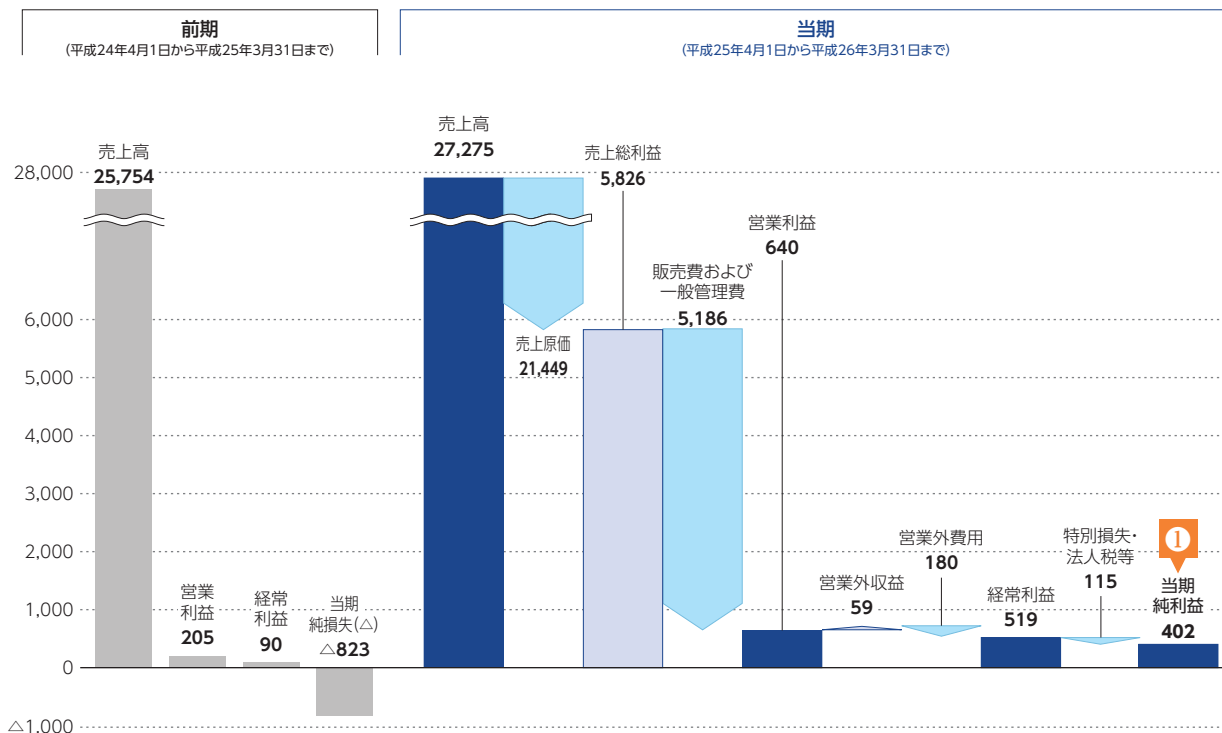


純資産推移



○ 連結財務データ

連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



POINT

① 当期純利益

売上高の増加および費用削減効果等に伴い営業利益が増加するとともに、特別損失等が減少したことから、前期比12億26百万円増加の4億2百万円となりました。

② 資産合計

受取手形および売掛金の増加ならびに日本ヒューチャア株式会社の子会社化に伴うのれん(無形固定資産)の増加等により、前期比10億32百万円増加の296億65百万円となりました。

③ 負債・純資産合計

改正退職給付会計基準等を当期末より適用したため、退職給付に係る負債が増加し、負債合計は238億54百万円(前期比12億97百万円増加)となりました。また、当期純利益を計上したものの、同様の理由によりその他の包括利益累計額が減少したことから、純資産合計は58億11百万円(前期比2億64百万円減少)となりました。

④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権は増加したものの、税金等調整前当期純利益の計上およびたな卸資産の減少等により、営業活動の結果獲得した資金は、19億39百万円となりました。

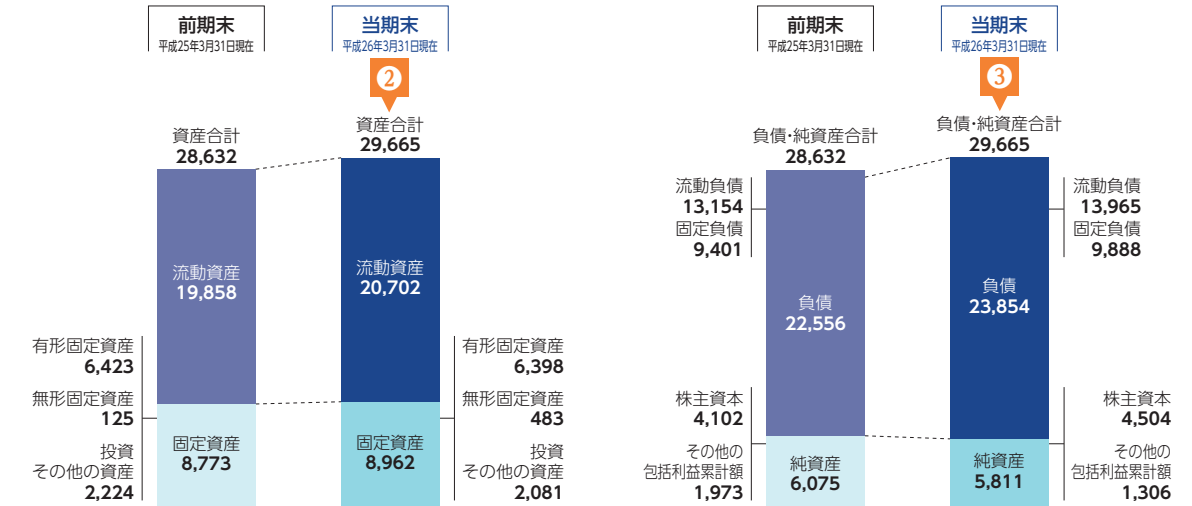
⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

日本ヒューチャア株式会社の全株式取得による支出および有形固定資産取得による支出等により、投資活動の結果使用した資金は、14億51百万円となりました。

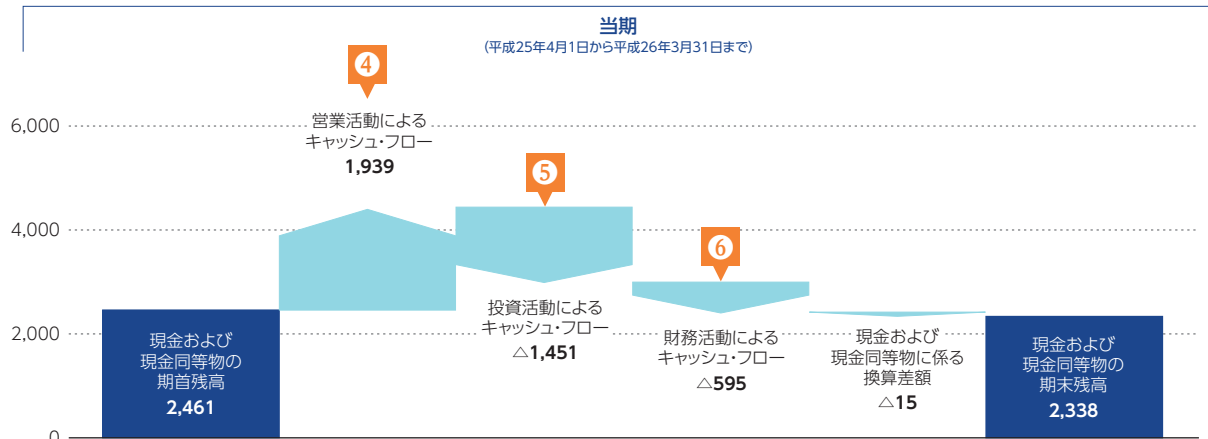
⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に借入金の返済による支出等により、財務活動の結果使用した資金は、5億95百万円となりました。

連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



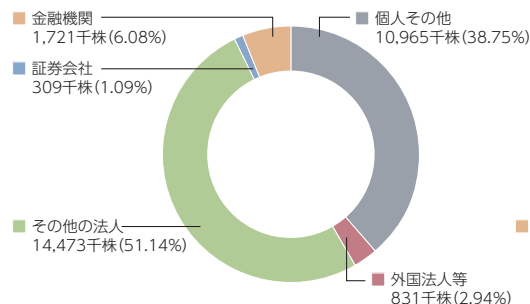
	普通株式	第1種優先株式	第2種優先株式
(1) 発行可能株式総数 80,000千株	76,000千株	4,000千株	1,500千株
(2) 発行済株式の総数 30,600千株	28,300千株	800千株	1,500千株
(3) 株主数	3,217名	1名	1名

(注) 第1種優先株式および第2種優先株式は、日本電気株式会社が全株所有しております。

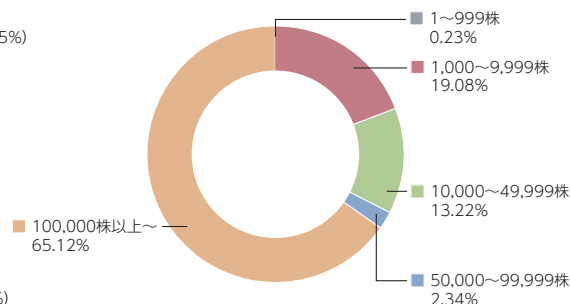
(4) 大株主の状況 (普通株式上位10名)

株主名	所有株式数 千株	持株比率 %
日本電気株式会社	14,151	50.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	531	1.88
日本アビオニクス従業員持株会	473	1.67
株式会社三井住友銀行	441	1.56
バンク オブ ニューヨーク シーシーエム クライアント アカ운 ジェイピーアールデイ アイエスジー エフイーエイシー	302	1.07
クレディ・スイス・セキュリティーズ (ヨーロッパ) リミテッド ピービー オムニパス クライアント アカ운	275	0.97
三井住友信託銀行株式会社	249	0.88
伊藤 豊	220	0.78
住友生命保険相互会社	218	0.77
松島 敏雄	211	0.75

(5) 所有者別分布の状況 (普通株式)



(6) 所有株数別の状況 (普通株式)



会社の概況 (平成26年3月31日現在)

- 商号 日本アビオニクス株式会社
- 英文商号 Nippon Avionics Co., Ltd.
- 設立 昭和35年4月8日
- 資本金 58億95百万円
- 従業員数 1,079名(連結) 772名(単独)
- 証券コード 6946

■ 営業所および工場 (平成26年6月27日現在)

- 本社 東京都品川区西五反田八丁目1番5号
- 横浜事業所 横浜市瀬谷区本郷二丁目28番2
- 新横浜事業所 横浜市都筑区池辺町4206番地
- 府中支店 東京都府中市府中町一丁目10番地の3
- 中部支店 名古屋市中区丸の内三丁目17番6号
- 西日本支店 大阪市淀川区西中島一丁目11番16号
- 熊谷営業所 埼玉県熊谷市筑波三丁目4

子会社 (平成26年6月27日現在)

- 山梨アビオニクス株式会社
山梨県南アルプス市宮沢568番地
- 福島アビオニクス株式会社
福島県郡山市待池台一丁目20番地
- 日本ヒューチャア株式会社
東京都千代田区神田神保町一丁目44番14号
- SOLTEC, INC.
12977 Arroyo Street, San Fernando, CA U.S.A.

役員状況 (平成26年6月27日現在)

取締役

代表取締役	秋津勝彦
取締役	露木満
取締役	齊藤幸夫
取締役	新井孝男
取締役	西村知典
取締役	延岡健太郎
取締役	望月愛子

(注) 西村知典、延岡健太郎および望月愛子の各氏は、社外取締役であります。

監査役

監査役(常勤)	清水敏夫
監査役(常勤)	鈴木智雄
監査役	伊藤茂樹
監査役	松本康子

(注) 鈴木智雄、伊藤茂樹および松本康子の各氏は、社外監査役であります。

執行役員

執行役員社長	秋津勝彦※
執行役員常務	井川裕三
執行役員	露木満※
執行役員	齊藤幸夫※
執行役員	土川稔
執行役員	新井孝男※
執行役員	木内一雄
執行役員	竹内正人

(注) ※の執行役員は、取締役を兼務しております。

株 主 メ モ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要のあるときはあらかじめ公告します。
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 公告の方法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.avio.co.jp/ir/index.htm>
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

当社ホームページのご案内

ホームページにて最新のIR情報等をご覧いただけます。



株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

- 証券会社に口座を開設されている株主様
⇒ 口座のある証券会社宛にお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様
⇒ 上記電話照会先にお願いいたします。

 日本アビオニクス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田八丁目1番5号
TEL. 03-5436-0600 <http://www.avio.co.jp>

 UD
FONT

 ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C013080

 VEGETABLE
OIL INK